

豪州バルガ炭鉱における後継鉱区開発について

新日鐵住金株式会社（代表取締役社長：進藤 孝生 以下、「当社」）は、資源大手のグレンコア社（Glencore plc、本社：スイス パール、CEO：アイバン グラゼンバーグ）等との間で、豪州ニューサウスウェールズ州のバルガ炭鉱*1 において後継鉱区（露天掘り、坑内掘り）の開発を行うことに合意し、今般、豪州当局の開発許認可を取得致しました。開発投資総額は約 7 億 400 万豪州ドル（約 704 億円：100 円/豪ドル前提*2）で、本年より新鉱区の建設工事に着手し、露天掘り鉱区は 2016 年から、坑内掘り鉱区は 2018 年から石炭生産を開始する予定です。

当社が 12.5%の権益を保有するバルガ炭鉱は、露天掘りおよび坑内掘りにより年間約 1,100 万トンの石炭を生産する豪州有数の炭鉱で、製鉄用原料炭および燃料用炭を供給しております。当社は、1993 年の J/V 参加以来 21 年間に亘り、途中権益の買い増し（当初 10% 現在 12.5%）も進めながら、一貫して同炭鉱の運営を支えてまいりました。

こうした中、同炭鉱における生産の約 55%を占める露天掘り鉱区と、同じく約 45%を占める坑内掘り鉱区が共に 2017 年に終掘を迎えることから、その後継鉱区の開発を進めることを、バルガ J/V として意思決定した次第です。

この鉱区開発によって、同炭鉱は 2018 年以降も年産 1,100 万トンの規模を維持することが可能となります。

当社は、原料の長期安定確保に向けて鉱山への投資を含む戦略的な原料購買政策を推進しておりますが、今後とも引き続き鉄鋼原料サプライヤーとの関係を強化しつつ、中長期的な原料の安定確保に努めていく所存です。

*1：それぞれの豪州子会社で構成するバルガ J/V が運営。シドニーの北西約 150km に所在。

*2：バルガ J/V の各出資者が権益比率に応じて負担。

< 参考：バルガ炭鉱および新鉱区開発計画の概要 >

1. バルガ炭鉱所在地 ： 別紙 1 参照
2. 権益構成 ： 別紙 2 参照
3. 総生産量 ： 約 1,100 万トン/年（製鉄用原料炭および燃料用炭）
4. 新鉱区開発計画 ： (1) 露天掘り
 採掘層の深化及びそれに伴う地表剥土エリアの拡張
 (2) 坑内掘り
 現行鉱区（ブレイクフィールドサウス）から隣接する新鉱区（ブレイクフィールドノース）への移行

（お問い合わせ先） 総務部広報センター 03-6867-2146,2135,2977,5807

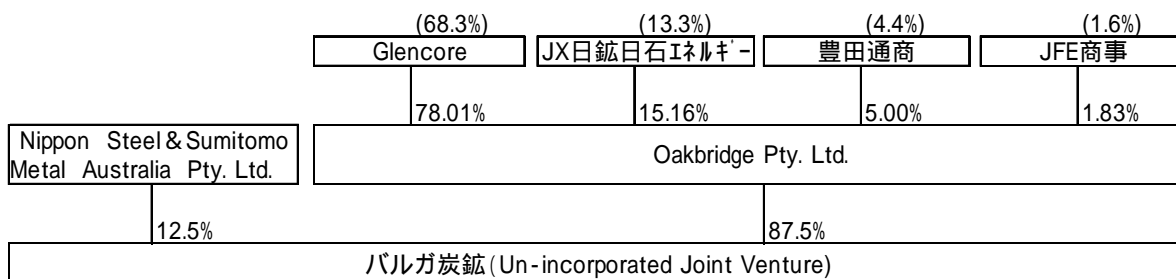
以上

バルガ炭鉱所在地



(別紙2)

バルガ J/V 権益構成



当社 100%子会社